

(第1号様式)

第 号
令和●●年●●月●●日

公益社団法人 和歌山県スポーツ協会
会長 岸本周平様

申請日は必ず事業開始日より前の日付
※原則、事業開始日の3週間前までに申請
事業開始日が4月1日の場合、申請日も4月1日

所在地 ●●●●●●

団体名 和歌山県●●協会(連盟)

代表者名 会長 ●●●●

令和7年度から、記載責任者を明記することで押印が不要

令和7年度トップアスリート育成事業費

(ジュニア・少年・成年強化事業)

補助金交付申請書

種別【少年男子】 実施回数【第1回～第4回】

令和7年度トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)の一環として別添のとおり計画しましたので、事業の承認をお願いします。
また、標記補助金として、下記金額を交付されたく関係書類を添えて申請します。

記

1 補助金交付申請額 800,000 円

2 トップアスリート育成事業実施
3 収支予算書

記載責任者は、原則、補助対象になっていない者かつ競技団体内の予算を把握している者としてください。(交付申請書及び実績報告書に関し疑義が生じた場合は記載責任者にお問い合わせさせていただきます。)

記載責任者	
氏名	●●●●
連絡先	222-222-222
E-mail	wakayama@E-mail

(第2号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア)実施計画書

指導者数と選手の人数を入力すると自動で合計値が表示される

ブルダウンから選択

できるだけ詳細に記入

回	事業名	期日	場所	宿舎名	参加人員	事業担当者	事業内容
1	県内合宿	4/19(土) ～ 4/20(日)	所在地 ●●県●●市 年/月/日を入力すると自動で曜日が表示されます。 例) 2025/4/1と入力すると4/1(火)と表示される	所在地 宿舎名	指導者 2名 選手 10名 計 12名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	種別合同での県内合宿を実施する。
2	合同練習会	5/1(木) ～ 10/31(金)	会場名 ●●	所在地 宿舎名	指導者 2名 選手 10名 計 12名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	毎週●曜日、●曜日実施(計●回)
3	県外遠征	5/23(金) ～ 5/25(日)	所在地 ●●県●●市 会場名 ●●	所在地 ●●県●●市 宿舎名 ●●	指導者 1名 選手 8名 計 9名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	●●県選抜チームとの練習試合。 試合会場は、近プロの試合会場であり近プロを想定した強化事業を実施する。
4	県外大会	7/5(土) ～ 7/6(日)	所在地 ●●県●●市 会場名 ●●	所在地 ●●県●●市 宿舎名 ●●	指導者 1名 選手 8名 計 9名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	●●大会 出場選手:100m ●●、走り高跳 ●●
			所在地 会場名	所在地 宿舎名	指導者 名 選手 名 計 名	氏名 TEL	
		～	所在地 会場名	所在地 宿舎名	指導者 名 選手 名 計 名	氏名 TEL	
		～	所在地 会場名	所在地 宿舎名	指導者 名 選手 名 計 名	氏名 TEL	
		～	所在地 会場名	所在地 宿舎名	指導者 名 選手 名 計 名	氏名 TEL	

宿泊費を計上する場合は必ず記入
申請時点では「未定」でも可

(第2号様式の2)

指導者・参加者名簿

対象者はプルダウンから○を選択

番号	氏名	年齢	勤務先又は学校名	学年	参加状況(参加者○印)										
					第1回	第2回	第3回	第4回	第 回	第 回	第 回	第 回	第 回	第 回	
指導者	1	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校		○	○	○	○						
	2	●●●●	●	株式会社●●		○	○								
	3														
	4														
	5														
参加者	1	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○						
	2	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○						
	3	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○						
	4	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○						
	5	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○						
	6	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○						
	7	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○						
	8	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	2	○	○	○	○						
	9	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	2	○	○								
	10	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	2	○	○								
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															

補助対象者であるか確認 (対象者以外は記載しない)
成年・少年…競技団体が指定する強化指定選手のみ
ジュニア…補助対象者の制限なし (学年は概ね小4～中3が対象)
※補助対象人数の上限は少年・成年種別に準ずる (体験・発掘を除く)

(第3号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)収支予算書

1. 収入の部

科目	予算総額	事業別予算額								備考
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
県スポーツ協会補助金	800,000	35,000	167,000	458,000	140,000					
負担金	41,400	400	18,000	18,000	5,000					
合計	841,400	35,400	185,000	476,000	145,000	0	0	0	0	

色付きのセルのみ入力
(色なしセルは自動で表示されます)

県スポーツ協会補助金の予算総額 = 交付申請額
対象外経費は負担金に計上

2. 支出の部

科目	予算総額	事業別予算額								備考
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
旅費	584,400	5,400	0	468,000	111,000	0	0	0	0	
(交通費)	305,400	5,400		252,000	48,000					
(宿泊費)	279,000			216,000	63,000					
消耗品費	43,000		35,000	8,000						
通信運搬費	10,000				10,000					
使用料及び賃借料	180,000	30,000	150,000							
参加費	24,000				24,000					
印刷製本費	0									ジュニア種別における体験教室等のチラシ等作製に限り対象
合計	841,400	35,400	185,000	476,000	145,000	0	0	0	0	

色付きのセルのみ入力
(色なしセルは自動で表示されます)

「収支予算書積算内訳(第3号様式の2)」で積算した金額を科目毎に記載

旅費 = 交通費 + 宿泊費
(交通費と宿泊費の合計が自動で表示されます)

各事業の「収入の部」と「支出の部」の予算額合計は同額になります。同額でない場合、自動でセルが黄色になります

(第3号様式の2)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)収支予算書積算内訳

回数	積算内訳	回数	積算内訳
第1回	<p>【交通費】5,400円 $75\text{km} \times 20\text{円} \times 2(\text{往復}) = 3,000\text{円}$ $60\text{km} \times 20\text{円} \times 2(\text{往復}) = 2,400\text{円}$ (うち400円負担金)</p> <p>【使用料及び賃借料】 ●●体育館使用料 30,000円</p>	<p>* 科目毎の積算内訳を具体的に記載 (対象経費の詳細は別表を参照) * 収支予算書 (第3号様式) に記載した金額と同じになっている確認 * どの科目でいくら負担金があるのか記載</p> <p>〈交通費〉 ・JR、航空機、借り上げバス、レンタカー等、交通手段を記載 ・駐車場代は交通費に計上 ・自家用車燃料費は、「運転者最寄駅～会場最寄駅の営業数×20円×回数」を記載 ・現地でレンタカーを借りた場合の燃料費は対象外 ・タクシーは対象外</p> <p>〈宿泊費〉 ・「単価×泊数×人数」を記載 ・1人1泊11,000円(2食付)が上限 ・3食付きの場合、昼食代は対象外となるため負担金とする</p> <p>〈消耗品費〉 ・競技用の消耗品、飲料水(氷含む)のみ対象 ※個人の私物になるようなもの(スパイク、ユニフォーム等)は対象外 ・内示額の20%が上限(詳細は別表参照)</p> <p>〈通信運搬費〉 ・用具の運搬のみ対象 ※個人の荷物(衣類等)は対象外 ・1事業について60,000円が上限(詳細は別表参照)</p> <p>〈使用料及び賃借料〉 ・会場使用料、用具等の賃借料(駐車場代は交通費に計上)</p> <p>〈参加費〉 ・内示額の20%が上限(駐車場代は交通費に計上)</p> <p>〈印刷製本費〉 ・ジュニア種別の教室開催に伴うチラシ等作成に限り対象</p>	
第2回	<p>【消耗品費】35,000円 飲料水、氷 5,000円 ボール @1,000円×30個=30,000円 (うち18,000円負担金)</p> <p>【使用料及び賃借料】 ●●体育館使用料 @2,500円×6か月=150,000円</p>		
第3回	<p>【交通費】 JR(和歌山～●●) $14,000\text{円} \times 2(\text{往復}) \times 9\text{人} = 252,000\text{円}$</p> <p>【宿泊費】 @12,000円×2泊×9人=216,000円 (うち上限額超過分の@1,000円×2泊×9人=18,000円負担金)</p> <p>【消耗品費】 飲料水、氷 5,000円</p>		
第4回	<p>【交通費】 レンタカー 48,000円 (うち5,000円負担金)</p> <p>【宿泊費】 @7,000円×1泊×9人=63,000円</p> <p>【通信運搬費】 競技用具輸送 10,000円</p> <p>【参加費】 @3,000円×8人=24,000円</p>		

自家用車運転者名簿

回	場 所	運転者名	運転者住所	運転者の自宅最寄駅	自家用車保険 (任意保険)の内容	運転者自宅の最寄駅から会場最寄駅の営業距離	備 考
1	会場所在地	① ●●●●●	●●●市●●●	●●●	① 対人 無制限 対物 無制限	75 km	
	●●●県●●●市	②			② 対人 円 対物 円	km	
	会場最寄駅 ●●●	③			③ 対人 円 対物 円	km	
1	会場所在地	① ●●●●●	●●●市●●●	●●●	① 対人 無制限 対物 無制限	60 km	Yahoo路線等で距離を確認 対象となるのは、通常とりうる最短距離 記載する距離は片道の距離 (距離数のわかる資料を添付) 小数点以下切り捨て
	●●●県●●●市	「指導者・参加者名簿(第2号様式の2)」 に記載されている人物か確認			② 対人 円 対物 円		
	会場最寄駅 ●●●	会場最寄駅、運転者の自宅最寄駅は、それぞれ の住所を基にインターネットで調べる			③ 対人 円 対物 円		
	会場所在地	①			① 対人 円 対物 円		
	会場最寄駅	②			② 対人 円 対物 円		
	会場最寄駅	③			③ 対人 円 対物 円	km	
	会場所在地	①			① 対人 円 対物 円	km	
	会場最寄駅	②			② 対人 円 対物 円	km	
	会場最寄駅	③			③ 対人 円 対物 円	km	

※ 自家用車の台数は、事業参加人数を5で除した台数を上限とする。(端数切り上げ)

※ 運転者自宅の最寄り駅から会場最寄駅の営業距離がわかる資料を添付してください。

(第4号様式)

第 号

令和●●年●●月●●日

公益社団法人 和歌山県スポーツ協会
会長 岸本周平様

変更申請日は必ず変更申請対象事業の開始日より前の日付記載例の場合は、第3回事業の開始前に変更手続きが必要

所在地 ●●●●●●

団体名 和歌山県●●協会(連盟)

団体長名 会長 ●●●●

令和7年度から、記載責任者を明記することで押印が不要

令和7年度トップアスリート育成事業費

(ジュニア・少年・成年強化事業)

補助金変更交付申請書

種別【少年男子】 実施回数【第1回～第5回】

令和●年●月●日付け和ス協第●号で交付決定を受けた標記事業に係る交付申請書について、下記のとおり変更したいので関係書類を添えて申請します。

記

1 変更の内容

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 交付決定済額 | 800,000 円 |
| (2) 今回増減額 | 200,000 円 |
| (3) 変更交付申請額 | 1,000,000 円 |

2 変更理由

第3回事業内容(期日)の変更及び第5回事業の追加

3 添付資料

- (1) 変更後の事業計画書
(2) 変更後の収支予算書

記載責任者は、原則、補助対象になっていない者かつ競技団体内の予算を把握している者としてください。(交付申請書及び実績報告書に関し疑義が生じた場合は記載責任者にお問い合わせさせていただきます。)

記載責任者

氏名	●●●●●●
連絡先	222-222-222
E-mail	wakayama@E-mail

(第5号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少女) 変更実施計画書

指導者数と選手の人数を入力すると自動で合計値が表示される

既存事業の当初計画が変更する場合は、変更内容を記載

プルダウンから選択

回	事業名	期日	場所	宿舍名	参加人員	責任者	事業内容
1	県内合宿	4/19(土) ～ 4/20(日)	所在地 ●●県●●市 年/月/日を入力すると自動で曜日が表示されます。 例) 2025/4/1と入力すると4/1(火)と表示される	所在地 宿 申請時点では「未定」でも可 ●●	指導者 2名 計 8名 10名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	種別合同での県内合宿を実施する。
2	合同練習会	5/1(木) ～ 10/31(金)	所在地 ●● 会場名 ●●	所在地 宿舍名	指導者 2名 選手 10名 計 12名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	毎週●曜日、●曜日実施(計●回)
3	県外遠征	6/20(金) ～ 6/22(日)	所在地 ●●県●●市 会場名 ●●	所在地 ●●県●●市 宿舍名 ●●	指導者 1名 選手 7名 計 8名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	●●県選抜チームとの練習試合。 試合会場は、近プロの試合会場であり近プロを想定した強化事業を実施する。 【変更内容】相手先との調整の結果、期日を変更
4	県外大会	7/5(土) ～ 7/6(日)	所在地 ●●県●●市 会場名 ●●	所在地 ●●県●●市 宿舍名 ●●	指導者 1名 選手 8名 計 9名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	●●大会 出場選手:100m ●●、走り高跳 ●●
5	県外遠征	8/6(水) ～ 8/8(金)	所在地 ●●県●●市 会場名 ●●	所在地 ●●県●●市 宿舍名 ●●	指導者 1名 選手 8名 計 9名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	●●県選抜チームとの練習試合。 試合会場は、国スポの試合会場であり国スポを想定した強化事業。
		～	所在地 会場名	所在地 会場名	指導者 計 0名	氏名 TEL	

◆申請が必要な変更内容

- ・当初の交付申請額から増額する場合、又は3割以上減額する場合
- ・当初の交付申請額から補助金の額は変わらないが、科目が追加される場合
(事例) 当初【交通費5万円、使賃料5万円】 実績【交通費3万円、消耗品費2万円、使賃料5万円】 ⇒ 変更申請が必要
- ・事業の追加、実施場所の変更 (県内合宿や県内合同練習会の実施場所の変更は申請不要)

◆申請が不要な変更内容

- ・軽微な変更 (期日が1～2週間変更、宿舍の変更、参加人数の変更)

(第5号様式の2)

指導者・参加者変更名

対象者はプルダウンから○を選択

番号	氏名	年齢	勤務先又は学校名	学年	参加状況(参加者○印)										
					第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第 回	第 回	第 回	第 回	第 回	
指導者	1	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校		○	○	○	○	○					
	2	●●●●	●	株式会社●●		○	○								
	3														
	4														
	5														
参加者	1	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	2	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	3	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	4	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	5	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	6	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	7	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	3	○	○		○	○					
	8	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	2	○	○	○	○	○					
	9	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	2		○								
	10	●●●●	●	和歌山県立●●●高等学校	2		○								
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															

補助対象者であるか確認(対象者以外は記載しない)
成年・少年…競技団体が指定する強化指定選手のみ
ジュニア…補助対象者の制限なし(学年は概ね小4～中3が対象)
※補助対象人数の上限は少年・成年種別に準ずる(体験・発掘を除く)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)収支変更予算書

1. 収入の部

科目	予算総額	事業別予算額							備考	
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第 回	第 回		
県スポーツ協会補助金	1,000,000 (800,000)	33,000 (35,000)	170,000 (167,000)	397,000 (458,000)	139,000 (140,000)	261,000 (0)				
負担金	43,400 (41,400)	400 (400)	20,000 (18,000)	8,000 (18,000)	5,500 (5,000)	9,500 (0)				
合計	1,043,400 (841,400)	33,400 (35,400)	190,000 (185,000)	405,000 (476,000)	144,500 (145,000)	270,500 (0)				

下段()内には当初申請額(収支予算書(第3号様式))の金額を記載

色付きのセルのみ入力
(色なしセルは自動で表示されます)

県スポーツ協会補助金の予算総額 = 変更交付申請額
対象外経費は負担金に計上

2. 支出の部

科目	予算総額	事業別予算額							備考	
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第 回	第 回		
旅費	781,400 (584,400)	5,400 (5,400)	0 (0)	400,000 (468,000)	110,500 (111,000)	265,500 (0)				
(交通費)	444,400 (305,400)	5,400 (5,400)		216,000 (252,000)	43,000 (48,000)	180,000 (0)				
(宿泊費)	337,000 (279,000)			184,000 (216,000)	67,500 (63,000)	85,500 (0)				
消耗品費	50,000 (43,000)		40,000 (35,000)	5,000 (8,000)		5,000 (0)				
通信運搬費	10,000 (10,000)				10,000 (10,000)					
使用料及び賃借料	178,000 (180,000)	28,000 (30,000)	150,000 (150,000)							
参加費	24,000 (24,000)				24,000 (24,000)					
印刷製本費	0 (0)									
合計	1,043,400 (841,400)	33,400 (35,400)	190,000 (185,000)	405,000 (476,000)	144,500 (145,000)	270,500 (0)				

色付きのセルのみ入力
(色なしセルは自動で表示されます)

「収支変更予算書積算内訳(第6号様式の2)」で積算した金額を科目毎に記載
旅費 = 交通費 + 宿泊費
(交通費と宿泊費の合計が自動で表示されます)

各事業の「収入の部」と「支出の部」の予算額合計は同額になります。同額でない場合、自動でセルが黄色になります

種別における体験教
のチラシ等作製に限り

※ 下段の()は当初申請額を記入し、上段に変更後の申請額を記入してください。

(第6号様式の2)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)収支変更予算書積算内訳

回数	積算内訳	回数	積算内訳
第1回	<p>【交通費】5,400円(うち400円負担金) 75km×20円×2(往復)=3,000円 60km×20円×2(往復)=2,400円</p> <p>【使用料及び賃借料】 ●●体育館使用料 28,000円</p>	第5回	<p>【交通費】 JR(和歌山～●●) 10,000円×2(往復)×9人=180,000円(うち9,000円負担金)</p> <p>【宿泊費】 @9,500円×1泊×9人=85,500円 (うち500円負担金)</p> <p>【消耗品費】 飲料水、氷 5,000円</p>
第2回	<p>【消耗品費】40,000円(うち20,000円負担金) 飲料水、氷 4,000円 ボール @1,200円×30個=36,000円</p> <p>【使用料及び賃借料】 ●●体育館使用料 @2,500円×6ヵ月=150,000円</p>	第 回	<p>※科目毎の積算内訳を具体的に記載(対象経費の詳細は別表を参照) ※収支変更予算書(第6号様式)に記載した金額と同じになっている確認 ※どの科目でいくら負担金があるのか記載 ※変更申請時点で終了している事業については、実績額を記載</p> <p>〈交通費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR、航空機、借り上げバス、レンタカー等、交通手段を記載 ・駐車場代は交通費に計上 ・自家用車燃料費は、「運転者最寄駅～会場最寄駅の営業数×20円×回数」を記載 ・現地でレンタカーを借りた場合の燃料費は対象外 ・タクシーは対象外 <p>〈宿泊費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「単価×泊数×人数」を記載 ・1人1泊11,000円(2食付)が上限 ・3食付きの場合、昼食代は対象外となるため負担金とする <p>〈消耗品費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技用の消耗品、飲料水(氷含む)のみ対象 ※個人の私物になるようなもの(スパイク、ユニフォーム等)は対象外 ・内示額の20%が上限(詳細は別表参照) <p>〈通信運搬費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具の運搬のみ対象 ※個人の荷物(衣類等)は対象外 ・1事業について60,000円が上限(詳細は別表参照) <p>〈使用料及び賃借料〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場使用料、用具等の賃借料(駐車場代は交通費に計上) <p>〈参加費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内示額の20%が上限(駐車場代は交通費に計上) <p>〈印刷製本費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア種別の教室開催に伴うチラシ等作成に限り対象
第3回	<p>【交通費】 JR(和歌山～●●) 13,500円×2(往復)×8人=216,000円</p> <p>【宿泊費】 @11,500円×2泊×8人=184,000円 (うち上限額超過分の@500円×2泊×8人=8,000円負担金)</p> <p>【消耗品費】 飲料水、氷 5,000円</p>	第 回	
第4回	<p>【交通費】 レンタカー 43,000円(うち5,000円負担金)</p> <p>【宿泊費】 @7,500円×1泊×9人=67,500円(うち500円負担金)</p> <p>【通信運搬費】 競技用具輸送 10,000円</p> <p>【参加費】 @3,000円×8人=24,000円</p>	第 回	

自家用車運転者変更名簿

回	場 所	運転者名	運転者住所	運転者の自宅最寄駅	自家用車保険 (任意保険)の内容	運転者自宅の最寄駅から会場最寄駅の営業距離	備 考	
1	会場所在地	① ●●●●●	●●●市●●●	●●●	① 対人 無制限 対物 無制限	75 km		
	●●●県●●●市	②			② 対人 円 対物 円			km
	会場最寄駅 ●●●	③			③ 対人 円 対物 円			km
1	会場所在地	① ●●●●●	●●●市●●●	●●●	① 対人 無制限 対物 無制限	60 km	Yahoo路線等で距離を確認 対象となるのは、通常とりうる最短距離 記載する距離は片道の距離 (距離数のわかる資料を添付) 小数点以下切り捨て	
	●●●県●●●市	「指導者・参加者変更名簿（第5号様式の2）」に記載されている人物か確認			② 対人 円 対物 円			km
	会場最寄駅 ●●●	会場最寄駅、運転者の自宅最寄駅は、それぞれの住所を基にインターネットで調べる			③ 対人 円 対物 円			km
	会場所在地	①			① 対人 円 対物 円	km		
	会場最寄駅	②			② 対人 円 対物 円	km		
		③			③ 対人 円 対物 円	km		
	会場所在地	①			① 対人 円 対物 円	km		
	会場最寄駅	②			② 対人 円 対物 円	km		
		③			③ 対人 円 対物 円	km		

※ 自家用車の台数は、事業参加人数を5で除した台数を上限とする。(端数切り上げ)

※ 運転者自宅の最寄り駅から会場最寄駅の営業距離がわかる資料を添付してください。

(第7号様式)

第 号

令和 年 月 日

公益社団法人 和歌山県スポーツ協会
会長 岸本周平様

報告日は必ず全事業終了後の日付かつ、全領収書
発行日以降の日付
※原則、全事業終了後1ヶ月以内、もしくは各年度
3月10日までのどちらか早い日付までに報告

所在地 ●●●●●●

団体名 和歌山県●●協会(連盟)

団体長名 会長 ●●●●

令和7年度から、記載責任者を明記することで押印が不要

令和7年度トップアスリート育成事業費

(ジュニア・少年・成年強化事業)

補助金実績報告書

種別【少年男子】 実施回数【第1回～第5回】

このことについて、事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて
報告します。

記

- 1 事業実績報告書
- 2 収支決算書

記載責任者は、原則、補助対象になっていない者かつ競技団
体内の予算を把握している者としてください。(交付申請書及
び実績報告書に関し疑義が生じた場合は記載責任者にお問
い合わせさせていただきます。)

記載責任者	
氏名	●●●●
連絡先	222-222-222
E-mail	wakayama@E-mail

(第8号様式)

プルダウンから選択

トップアスリート育成事業(ジュニア)

指導者数と選手の人数を入力すると自動で合計値が表示される

業)実績報告書

回	事業名	期日	場所	宿舎名	参加人員	責任者	事業成果
1	県内合宿	4/19(土) ～ 4/20(日)	所在地 ●●県●●市 年/月/日を入力すると自動で曜日が表示されます。 例) 2025/4/1と入力すると4/1(火)と表示される	所在地 宿泊費を計上する場合は必ず記入 宿舎名	指導者 2名 8名 計 10名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	種別合同での県内合宿を実施し、強化指定選手である成年種別●●名も参加した。
2	合同練習会	5/1(木) ～ 10/31(金)	会場名 ●●	所在地 宿舎名	指導者 2名 選手 10名 計 12名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	毎週●●曜日、●●曜日実施(計●●回) 主な練習内容としては●●●●●●●●を中心に継続的な練習会を実施した。
3	県外遠征	6/20(金) ～ 6/22(日)	所在地 ●●県●●市 会場名 ●●	所在地 ●●県●●市 宿舎名 ●●	指導者 1名 選手 7名 計 8名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	●●県選抜チームとの練習試合。 試合結果:●● ※課題や成果を簡潔に記載
4	県外大会	7/5(土) ～ 7/6(日)	所在地 ●●県●●市 会場名 ●●	所在地 ●●県●●市 宿舎名 ●●	指導者 1名 選手 8名 計 9名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	●●大会 試合結果:100m ●●●●●●位、走り高跳 ●●●●●●位
5	県外遠征	8/6(水) ～ 8/8(金)	所在地 ●●県●●市 会場名 ●●	所在地 ●●県●●市 宿舎名 ●●	指導者 1名 選手 8名 計 9名	氏名 ●●●● TEL 111-111-111	●●県選抜チームとの練習試合。 試合結果:●● ※課題や成果を簡潔に記載
		～	所在地 会場名	所在地 宿舎名	指導者 名 選手 名 計 0名	氏名 TEL	できるだけ詳細に記入 練習試合や大会の場合は、結果を記載 また、課題や成果を簡潔に記載
		～	所在地 会場名	所在地 宿舎名	指導者 名 選手 名 計 0名	氏名 TEL	
		～	所在地 会場名	所在地 宿舎名	指導者 名 選手 名 計 0名	氏名 TEL	

(第8号様式の2)

指導者・参加者実績名

対象者はプルダウンから○を選択

番号	氏名	年齢	勤務先又は学校名	学年	参加状況(参加者○印)										
					第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第 回	第 回	第 回	第 回	第 回	
指導者	1	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校		○	○	○	○	○					
	2	●●●●	●	株式会社●●		○	○								
	3														
	4														
	5														
参加者	1	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	2	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	3	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	4	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	5	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	6	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	3	○	○	○	○	○					
	7	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	3	○	○		○	○					
	8	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	2	○	○	○	○	○					
	9	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	2		○								
	10	●●●●	●	和歌山県立●●高等学校	2		○								
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															

補助対象者であるか確認（対象者以外は記載しない）
成年・少年…競技団体が指定する強化指定選手のみ
ジュニア…補助対象者の制限なし（学年は概ね小4～中3が対象）
※補助対象人数の上限は少年・成年種別に準ずる（体験・発掘を除く）

(第9号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)収支決算書

1. 収入の部

予算総額は、収支予算書(第3号様式)の予算総額と一致
 変更申請をしている場合は収支変更予算書(第6号様式)の予算額と一致

科目	予算総額	決算総額	増減	決 算 額											
				第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第 回	第 回	第 回				
県スポーツ協会補助金	1,000,000	1,000,000	0	33,000	170,000	397,000	139,000	261,000							
負担金	43,400	40,720	▲2,680	200	19,680	7,370	4,050	9,420							
合計	1,043,400	1,040,720	▲2,680	33,200	189,680	404,370	143,050	270,420							

色付きのセルのみ入力
(色なしセルは自動で表示されます)

対象外経費は負担金に計上

2. 支出の部

科目	予算総額	決算総額	増減	事 業 別 決 算 額										備 考	
				第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第 回	第 回	第 回				
旅 費	781,400	779,950	▲1,450	5,400	0	400,000	109,050	265,500	0						
(交通費)	444,400	448,800	4,400	5,400		216,000	43,800	183,600							
(宿泊費)	337,000	331,150	▲5,850			184,000	65,250	81,900							
消耗品費	50,000	48,970	▲1,030		39,680	4,370		4,920							
通信運搬費	10,000	10,000	0				10,000								
使用料及び賃借料	178,000	177,800	▲200	27,800	150,000										
参加費	24,000	24,000	0				24,000								
印刷製本費		0	0												
合計	1,043,400	1,040,720	▲2,680	33,200	189,680	404,370	143,050	270,420	0	0	0				

色付きのセルのみ入力
(色なしセルは自動で表示されます)

各事業の「収入の部」と「支出の部」の決算額合計は同額になります。同額でない場合、自動でセルが黄色になります

験教室
対象

自家用車運転者実績名簿

回	場 所	運転者名	運転者住所	運転者の自宅最寄駅	自家用車保険 (任意保険)の内容	運転者自宅の最寄駅から会場最寄駅の営業距離	備 考
1	会場所在地 ●●●●●市	① ●●●●●	●●●市●●●	●●●	① 対人 無制限 対物 無制限	75 km	
	会場最寄駅 ●●●	②			② 対人 円 対物 円	km	
		③			③ 対人 円 対物 円	km	
1	会場所在地 ●●●●●市	① ●●●●●	●●●市●●●	●●●	① 対人 無制限 対物 無制限	60 km	Yahoo路線等で距離を確認 対象となるのは、通常とりうる最短距離 記載する距離は片道の距離 (距離数のわかる資料を添付) 小数点以下切り捨て
	会場最寄駅 ●●●	「指導者・参加者実績名簿（第8号様式の2）」に記載されている人物か確認			② 対人 円 対物 円		
		会場最寄駅、運転者の自宅最寄駅は、それぞれの住所を基にインターネットで調べる			③ 対人 円 対物 円	km	
	会場所在地	①			① 対人 円 対物 円		
	会場最寄駅	②			② 対人 円 対物 円		
		③			③ 対人 円 対物 円	km	
	会場所在地	①			① 対人 円 対物 円	km	
	会場最寄駅	②			② 対人 円 対物 円	km	
		③			③ 対人 円 対物 円	km	

※ 自家用車の台数は、事業参加人数を5で除した台数を上限とする。(端数切り上げ)

※ 運転者自宅の最寄り駅から会場最寄駅の営業距離がわかる資料を添付してください。

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類

科目

交通費

科目はプルダウンから選択

回数	第 1 回
支払年月日	令和6年4月20日
支払金額	5,400
説明	75km × 20円 × 2(往復) = 3,000円 60km × 20円 × 2(往復) = 2,400円

領収書添付欄

〈科目〉プルダウンから選択

〈回数〉実績報告書(第8号様式)と一致しているか

〈支払年月日〉実際に支払った日を記載してください(振込の場合は振込日を記載)
※事業実施日や領収書発行日ではありません

〈支払金額〉

- ・添付した領収書の合計金額を記載(対象外経費含む)
- ・領収書の金額にその他の種別で計上する金額が含まれている場合は、該当種別の金額のみ計上し、差額の説明を記載する

例) 領収書記載金額が50,000円のうち、少年男子30,000円、少年女子20,000円
⇒ 少年男子の支払金額には30,000円と記載し、説明に「差額20,000円は少年女子第●回事業に計上」と記載(少年男子に領収書原本を添付した場合、少年女子は写しを添付し、「原本は少年男子●回事業に添付」と記載)

〈説明〉

- ・支払い金額の具体的な内容を記載
- ・対象外経費が含まれている場合は、負担金である旨記載

例) 宿泊費1名1泊12,000円

@12,000円 × 1名 × 1泊(うち上限を超過した1,000円 × 1名1泊 = 1,000円は負担金)

【領収書の記載内容】

・日付は、交付決定日以降の日付であること

※交付決定日より前の日付の場合は、補助金の交付対象外となります

・宛名は競技団体名であること

※個人名等、競技団体と特定できない場合は、補助金の交付対象外となります

・領収書は、「年月日、内容、数量、単価、相手方の氏名・住所等」の内訳がわかる詳細なものを発行してもらうこと

※特に消耗品費は具体的に記載してください(消耗品購入代として、お品代としては不可)

※証拠書類書類として不十分な場合は、支出内訳がわかる明細書や請求書、納品書等を添付してください

・領収書にポイントの付与・還元が記載されている場合、付与・還元されたポイント分を現金換算し、補助対象額から減額すること

・高速道路の通行料をETCで支払った場合、「ETC利用証明書」を領収書に代えることができる

・税抜5万円以上の場合は、領収書に収入印紙を貼付し消印があること(クレジットは不要)

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類

科目

交通費

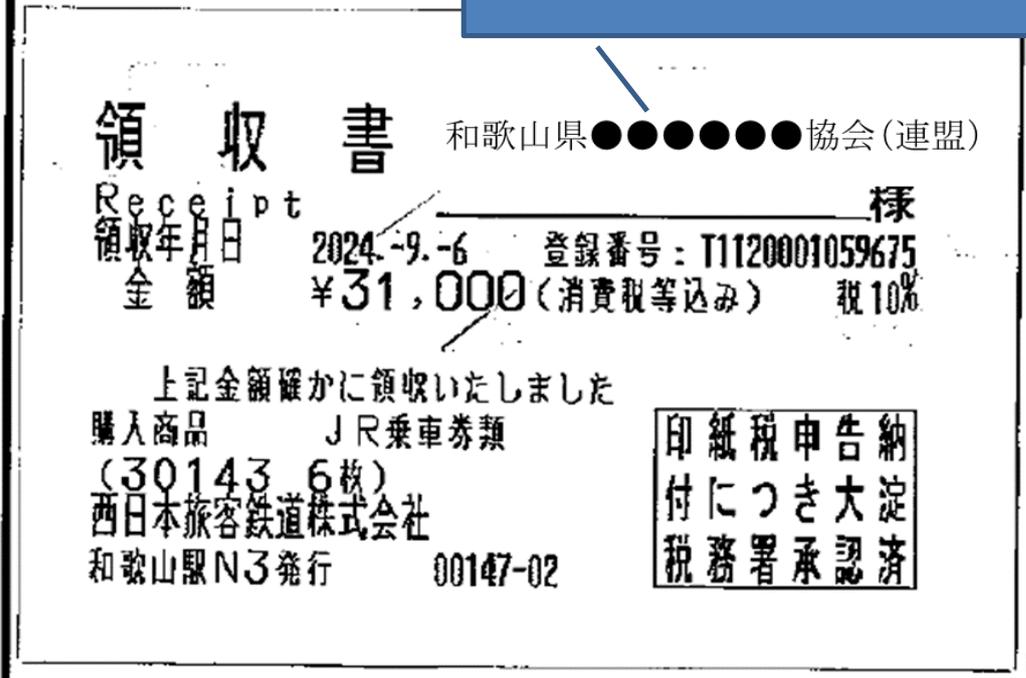
科目はプルダウンから選択

回数	第●回
支払年月日	令和6年9月6日
支払金額	31,000
説明	JR(●●~●●) @15,500円×2(往復)×1人 (うち負担金●円)

事業実施日や領収書の日付ではなく実際に支払った日を記載
この場合は領収日=実際に支払った日

支払金額の具体的な内容を記載
負担金があれば記載

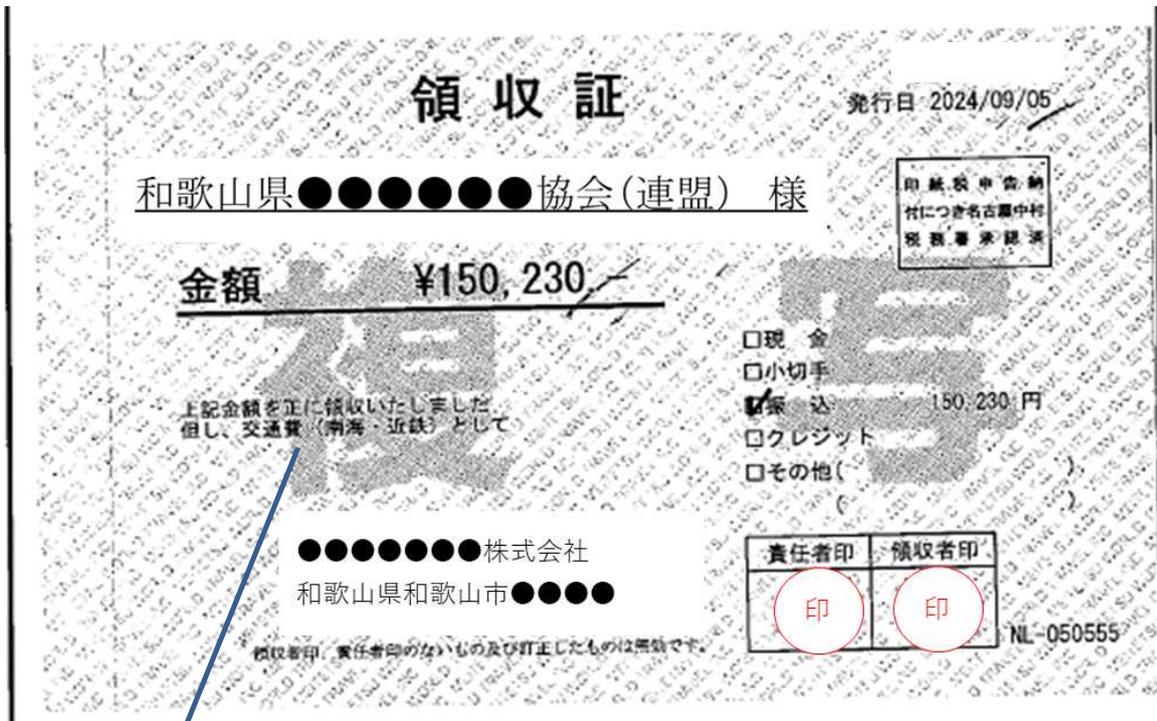
宛名は競技団体名
※個人名等、競技団体と特定できない場合は不可



(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科目 交通費

回数	第●回
支払年月日	令和6年9月5日
支払金額	150,230
説明	南海(●●●~●●●) @●●●円×2(往復)×●人 南海(●●●~●●●) @●●●円×2(往復)×●人



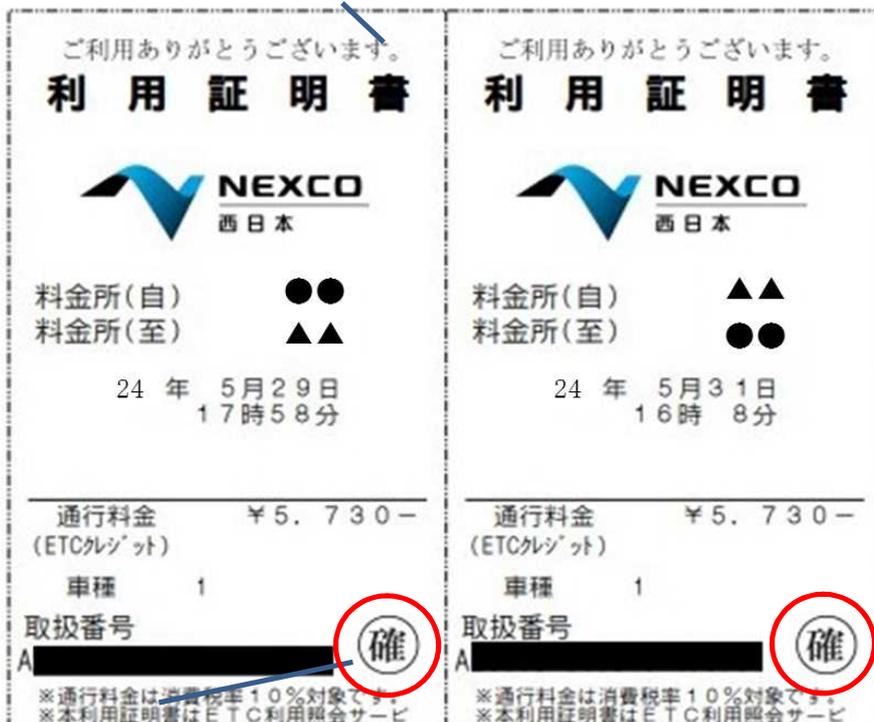
旅行会社の領収書の場合、但し書に内訳を記載
宿泊費とパッケージになっており、内訳がわからない場合は請求書等、内訳がわかる書類
を添付

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科目 交通費

回数	第●回
支払年月日	令和6年5月29日、31日
支払金額	11,460
説明	有料道路料金(●●~▲▲) @5,730円×2(往復)

ETCカードを利用した場合、利用証明書を添付



利用証明書は通行料金が確定したことを表す「確」の表示があるものを添付すること
利用証明書に「確」が表示されるまでの期間はおおよそ以下のとおり

- 1日から7日までの利用分 当月20日ごろに確定
- 8日から15日までの利用分 当月27日ごろに確定
- 16日から25日までの利用分 翌月7日ごろに確定
- 26日から末日までの利用分 翌月12日ごろに確定



(ETC利用照会サービスQ&A)

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科目 交通費(燃料費)

回数	第●回
支払年月日	令和●年●月●日
支払金額	●●
説明	●km(●●⇄●●)×20円×2(往復)=●●円

支払証明書

燃料費として ●●円支払ったことを証明します。

和歌山県●●協会(連盟)

会長 ●● ●● 印

押印必要

※ 受領者の領収書を貼付してください。

領収書	
令和●年●月●日	
和歌山県●●●●●●●●●●協会(連盟)	
会長 ●● ●● 様	
金	●●
円也	
但し、第●回事業の燃料費として 上記正に領収いたしました。	
住所	押印必要
氏名	印

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科目 宿泊費

回数	第●回
支払年月日	令和6年11月5日
支払金額	今回は銀行振込なので、振込日を記載 240,000
説明	12,000円×2泊×10人 (うち上限を超過した@1,000円×2泊×10人=20,000円は負担金)

上限1人1泊11,000円を超過した場合は、超過分を負担金として計上

5万円以上なので収入印紙貼付(割印)

領収証 RECEIPT

DATE 2024/11/13

FORM OF PAYMENT

現金 CASH	
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK TRANSFER	11/5 銀行振込入金
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

RECEIVED FROM 和歌山県●●●●●●協会(連盟)様

領収金額 THE SUM FORM ¥240,000 ※

俱し FOR 11/11、12 10名宿泊 @12,000円/人

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received

発行番号 印

●●●●●●株式会社
和歌山県和歌山市●●●●●● 印

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金額又は有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

但し書に宿泊費、人数、単価を記載
但し書に記載がない場合は、請求書等を添付

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科 目 消耗品費

回 数	第 ● 回
支 払 年 月 日	令和6年8月7日
支 払 金 額	79,200
説 明	ボール@26,400円×3ダース

領 収 証	和歌山県●●●●●●●●協会(連盟)	No. 様
★	¥79,200 - /	
但	ボール@26,400円×3ダース	
	令和6年8月7日 上記正に領収いたしました	
	内訳 税抜金額 ¥72,000 消費税額 10% ¥7,200	●●●●●●●●株式会社 印
印		和歌山県和歌山市●●●●● TEL:111-111-111

但し書に、品名、単価、個数を記載
但し書に記載がない場合は、請求書等を添付

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科目 消耗品費

回数	第 ● 回
支払年月日	令和6年6月9日
支払金額	5,767
説明	うちタブレット855円は負担金

対象外経費があれば負担金として計上

和歌山県●●協会
(連盟)様

領 収 証

2024年06月09日(日)

¥5,767-

上記正に領収しました(消費税等 427円を含みます)
*印はセーフティゾーン税制対象 ●印は軽減税率(8%)適用商品

●●●商店 TEL:222-222-222 登録番号:3333333333

※保管上のお願い
財布等で保管載く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

和歌山県正日自米田
2024年06月09日(日)09:12 ｼﾞ'0122

0292	0102	対レシート8354		792
	●	オーエスワン6本P		¥5,340
0211		2コX単1200		
	●	ポカリパウダー5P		¥427
0244		X単537		¥427
		タブレット		¥5,767
		単198		
小計				
(外8%)	対象			
(外8%)				
(消費税合計)				
合計				
お買上点数				10点

スーパー等の領収書の場合は、明細も添付

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科目 **通信運搬費**

回数	第 ● 回
支払年月日	令和6年10月5日
支払金額	7,380
説明	発送元●●～発送先●● 競技用具名

郵便番号 111-111-111
集荷先 問合先
お届け先 ●●県●●市 ●●●●スタジアム
111-111-111
●●県●●市
和歌山県●●●●●●協会 (連盟)
111-111-111
競技用具名
【荷受け専用】
領収書
2024年10月05日
お問合せ送り状No.
合計 ¥7,380(税込)
上記金額を領収いたしました。
消費税 ¥671
非課税 ¥0
【決済金種】 担当者 ●●
✓:現金
金種番号: 333333333333

競技用具の運搬のみ対象
※個人の荷物(衣類等)は対象外

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科目 **使用料及び賃借料**

回数	第 ● 回
支払年月日	令和6年6月15日
支払金額	7,380
説明	市立松下体育館使用料(7/20、21 8時~17時) (うち会議室930円+椅子1,540円=2,470円は負担金)

和歌山市公金収納受託者領収書				
番号	183	取扱箇所	●●●●●体育館	
住所	和歌山県●●市			
名前	和歌山県●●●●協会(連盟)		様納	
年度	6 年度			
科目	体育館使用料			
摘要	金額			
	千	百	十	円
7/20(8~17)			10	230
会議室				930
折畳椅子等×77			15	40
合計		4	127	00
(10%対象額)	12700円			
(消費税額)	1,154円			
上記の金額領収しました。 令和6年6月15日				
公益財団法人 ●●●●●●●●●●財団理事長				
◎ この領収書の金額を訂正したもの及び受託者印のないものは無効です。 ◎ この領収書は大切に保存してください。		取扱者印 印		

宛名は競技団体名
個人名等、競技団体と特定できない
場合は不可

会場管理者等の発行する明細が記載された領収書を添付
使用日等の記載がない場合は、施設利用許可書等を添付

(第11号様式)

トップアスリート育成事業(ジュニア・少年・成年強化事業)に要した経費の証拠書類
科目 参加費

回数	第●回
支払年月日	令和7年8月21日
支払金額	20,000
説明	2025年度全日本●●●選手権大会参加料 @2,000円×10名分

宛名は競技団体名
個人名等、競技団体と特定できない
場合は不可

大会主催者が発行する領収書を添付
大会名、人数、単価を記載

領収書

令和7年8月21日

和歌山県●●●協会(連盟)
会長 ●●●● 様

金 200,000 円也

但し、2025年度全日本●●●選手権大会参加料として
(@2,000円×10名分)
上記正に領収いたしました

日本●●●協会 会長 ●●●● 印

請求書(概算払い)

公益社団法人 和歌山県スポーツ
会長 岸本周平様

- (1) 交付決定額：交付決定額を記載。
(2) 支払い済額：既に請求済みの金額を記載
(3) 残額：(1) - (2) - 請求金額 = (3)

金 800,000 円也

(1) 交付決定額	800,000	円
(2) 支払い済額	0	円
(3) 残額	0	円

但し、令和7年度トップアスリート育成事業費
(ジュニア・少年・成年強化事業) 補助金

【種別:少年男子】【実施回数:第1回～第4回】

上記のとおり請求します。

令和●年●月●日

所在地 ●●●●●●

団体名 和歌山県●●協会(連盟)

代表者名 会長 ●●●●

連絡先 111-111-111

令和7年度から、発行担当者の氏名・連絡先を記載することで押印が不要

【振込先】

●● 銀行 ●● 支店
(普通・当座) No. 111111
フリガナ ●●●●●●
口座名義 ●●●●●●

会計担当者は、請求書の発行・送付等を担当する者
記載責任者 = 会計担当者の場合同一人物でも構いません

会計担当者氏名 ●●●●

会計担当者連絡先 222-222-222

請求書(概算払い)

公益社団法人 和歌山県スポーツ
会長 岸本周平様

- (1) 交付決定額：変更後の交付決定額を記載。
- (2) 支払い済額：既に請求済みの金額を記載
- (3) 残額：(1) - (2) - 請求金額 = (3)

金 200,000 円也

(1) 交付決定額	1,000,000	円
(2) 支払い済額	800,000	円
(3) 残額	0	円

但し、令和7年度トップアスリート育成事業費
(ジュニア・少年・成年強化事業) 補助金

【種別:少年男子】【実施回数:第1回～第5回】

上記のとおり請求します。

令和●年●月●日

所在地 ●●●●●●

団体名 和歌山県●●協会(連盟)

代表者名 会長 ●●●●

連絡先 111-111-111

令和7年度から、発行担当者の氏名・連絡先を記載することで押印が不要

【振込先】

●● 銀行 ●● 支店
 (普通・当座) No. 111111
 フリガナ ●●●●●●
 口座名義 ●●●●●●

会計担当者は、請求書の発行・送付等を担当する者
記載責任者 = 会計担当者の場合には同一人物でも構いません

会計担当者氏名 ●●●●

会計担当者連絡先 222-222-222

請求書(精算払い)

公益社団法人 和歌山県スポーツ
会長 岸本周平様

- (1) 確定額：確定額を記載。
(2) 支払い済額：既に請求済みの金額を記載
(3) 残額：(1) - (2) - 請求金額 = (3)

金 800,000 円也

(1) 確定額	800,000	円
(2) 支払い済額	0	円
(3) 残額	0	円

但し、令和7年度トップアスリート育成事業費
(ジュニア・少年・成年強化事業) 補助金

【種別:少年男子】【実施回数:第1回～第4回】

上記のとおり請求します。

令和●年●月●日

所在地 ●●●●●●

団体名 和歌山県●●協会(連盟)

代表者名 会長 ●●●●

連絡先 111-111-111

令和7年度から、発行担当者の氏名・連絡先を記載することで押印が不要

【振込先】

●● 銀行 ●● 支店
(普通・当座) No. 111111
フリガナ ●●●●●●
口座名義 ●●●●●●

会計担当者は、請求書の発行・送付等を担当する者
記載責任者=会計担当者の場合同一人物でも構いません

会計担当者氏名 ●●●●

会計担当者連絡先 222-222-222

概算払後に変更交付申請し、額の確定後、残額を精算払いする場合

請求書(精算払い)

公益社団法人 和歌山県スポーツ
会長 岸本周平様

- (1) 確定額：確定額を記載。
- (2) 支払い済額：既に請求済みの金額を記載
- (3) 残額：(1) - (2) - 請求金額 = (3)

金 200,000 円也

(1) 確定額	1,000,000	円
(2) 支払い済額	800,000	円
(3) 残額	0	円

但し、令和7年度トップアスリート育成事業費
(ジュニア・少年・成年強化事業) 補助金

【種別:少年男子】【実施回数:第1回～第5回】

上記のとおり請求します。

令和●年●月●日

所在地 ●●●●●●

団体名 和歌山県●●協会(連盟)

代表者名 会長 ●●●●

連絡先 111-111-111

令和7年度から、発行担当者の氏名・連絡先を記載することで押印が不要

【振込先】

●● 銀行 ●● 支店
(普通・当座) No. 111111
フリガナ ●●●●●●●●
口座名義 ●●●●●●●●

会計担当者は、請求書の発行・送付等を担当する者
記載責任者=会計担当者の場合同一人物でも構いません

会計担当者氏名 ●●●●

会計担当者連絡先 222-222-222